

1	会議名	令和6年第4回教育委員会会議 会議録	
2	開催日時	令和6年3月25日（月）午後2時30分～午後3時35分	
3	開催場所	2階 特別会議室	
4	出席委員	教育長 守山 敏晴 委 員 廣田 登志子、村尾 利勝、渡邊 博明、柿木 秀雄	
5	欠席委員	なし	
6	会議出席者	教育次長 科学センター館長兼務 : 丸川 浩 教育政策課長 : 村重 武志 教育政策課 英語教育推進室長 : 村中 俊一郎 学校教育課長 : 重本 浩志 青少年課長 教育センター所長兼務 : 倉本 敦 生涯学習課長 中央公民館長兼務 : 岡田 司 中央図書館長 : 山本 圭子 科学センター次長 : 宮 文男 由宇支所次長 : 中村 洋一 周東支所長 : 加藤 勝巳 錦支所長 : 岩脇 孝史 美和支所長 : 佐伯 重樹	
7	会議従事職員	教育政策課 : 大黒屋 誠、村上 葵	
8	会議録署名委員	廣田 登志子、柿木 秀雄	
9	議事日程		
	日程第1	会議録署名委員の指名について	
	日程第2	報告第3号	所管事項について
	日程第3	報告第4号	生徒指導上の課題について
	日程第4	議案第7号	岩国市教職員住宅管理規則の一部を改正する規則について
	会議の概要 教育長	・ただ今から、令和6年第4回岩国市教育委員会会議を開会します。 ・はじめに、日程第1会議録署名委員の指名を行います。本日の会議録署名委員は、廣田委員と柿木委員にお願いします。 ・本日の議題は、日程第2「報告第3号 所管事項について」、日程第3「報告第4号 生徒指導上の課題について」、日程第4「議案第7号 岩国市教職員住宅管理規則の一部を改正する規則について」、以上でございます。 ・それでは、日程第2「報告第3号 所管事項について」を議題といたします。これにつきましては、協議会形式で進めたいと思います。各担当部署から先に配布しております行事予定表について、補足又は所管事項に関する懸案等があれば説明をお願いします。	
	美和支所長		
		・4月13日に美和小学校の開校式が挙行されます。関係者の皆様には御案内させていただいておりますが、出席のほどよろしくお願いいたします。	

学校教育課長	・卒業式・卒園式に御出席いただきまして、ありがとうございました。お陰様で滞りなく執り行うことができました。小・中学校につきましては、明日が終業式となります。次年度につきましては、夏季休業を2日ほど短くしまして、8月30日から二学期がスタートし、3月24日が終業式になります。それから、4月の校長会の御案内になりますが、4月12日の金曜日に行います。
青少年課長	・本日、午前中に3か所の支援教室において無事に終業式が終わりました。
教育政策課長	・昨日、P L A T A B Cにおいて2周年の記念イベントを行いました。あいにくの雨で、屋外スペースで予定していた錦帯橋の模型の組み立てや屋外コンサートは、一部予定を変更して実施することになりましたが、記念イベント自体は大変盛況で、約1,200人の方に御来場いただきました。会場はとてにぎやかで、日本人の方だけでなく、外国の方も子供から大人まで、楽しい時間を過ごしていただきました。英語教育推進室の職員をはじめ、P L A T A B Cのスタッフ等が連携・協力して取り組んだ結果であると思います。関係者の皆様に感謝申し上げます。
教育長 村尾委員	・全体を通しまして、御意見・御質問がございましたらお願いします。 ・学校教育課にお尋ねします。人事も全て終わり、ほっとされていると思います。昨年は中学校の35人学級化は教員の充当が難しいということで、見送られました。今年は35人学級化にしようと人事配置を行ったわけですが、岩国市の現状はいかがですか。
学校教育課長	・おっしゃられたように、昨年は教員不足で苦肉の策を講じて、県の教育委員会の方針で、中2、中3については35人学級化を38人でやるという措置をしまして、なおかつ、少人数の加配や生徒指導の加配等については一部凍結しました。今年度については、全県で35人学級化が戻せると報道がありました。岩国市内も全て、35人学級化が可能な形になりました。お陰様で、随分お声掛けをいただき、70代の方にも御協力をいただいたり、昨年は80歳の方に教壇に立っていただくことも年度途中にありました。加配については、依然として一部凍結されております。新規採用についてですが、特に中学校において昨年より多く確保でき、少人数の加配を戻したり、生徒指導の加配の確保など、一昨年ほどではありませんが、若干戻ってきております。あわせて非常勤ですが、中学校において、教科の時間が確保できないことが予想されましたので、非常勤は100時間程度追加確保されました。今年はさらに上乘せした人数をいただいております。今は非常勤の方や支援員の方々に声掛けをしております。市の支援員ですが、昨年は年度途中で暫定的に増やしました。予算は終了しましたが、新年度について5人ほど増員し、スタートします。教員だけでなく、支援員を含めて

村尾委員	昨年よりは良い状態でスタートできていると思っています。 ・ 少し余裕をもってスタートできるんですね。正規の先生が育休や産休に入ると、教科によって違うかもしれませんが、厳しい状況になりますか。
学校教育課長	・ 突発的な事案については、今のところ代替の方がおられませんので、引き続き情報をいただければと思います。
村尾委員	・ 青少年課の支援員の先生で、今年辞められる方は何人おられますか。
青少年課長	・ 3人退職されます。
村尾委員	・ ベテランの先生は、子供の扱いもシステムもよく理解されています。少ない人数の中でも機能的に回っていたと思いますが、新しい方はどうですか。
青少年課長	・ 募集の後、面談をしまして補充は完了しています。小学校で養護教諭をされていた方、校長を退職される方、教員経験はありませんが、とても情熱を持った方が来ていただけるようになりました。
村尾委員	・ 引継ぎと指導方法を十分に伝達して、子供たちが負担に感じない指導をお願いしたいと思います。
廣田委員	・ 卒業式に参加しましたが、コロナの3年間を経て、コロナ禍以前の形式をとる学校や、慎重を期しながら実施された学校もありました。マスクの使用は3割程度に感じました。地域の実情や、学校の規模に合わせて実施されており、すばらしいと感じました。歌が禁止されている時期もありましたが、参加した小学校は、市民憲章と市歌も2番まで歌われ、良い形に戻ったなと感じております。以前にもお話ししましたが、二十歳のつどいまで継続して市歌が歌われると岩国市民としての自覚も生まれると思いますので、よろしく願いいたします。
学校教育課長	・ 4月から新年度が始まります。子供たちは、家庭と地域社会と学校の中で一日を過ごすわけですが、地域のコミュニティ・スクールや学校のカリキュラムの下で授業を受けていますが、家庭で過ごす時間は半分近くあります。家庭教育を含めた保護者教育が大切ではないかと痛感しております。学校教育の中で、家庭教育についてどのように取り組んでおられるか教えてください。 ・ 家庭教育や保護者教育になりますと、生涯学習課と連携して行うようになります。PTA活動の中で家庭教育学級など、地域の中で講座を組んだりして、動きは戻ってきていると思います。特に睡眠に係る生活の乱れや携帯電話・SNSの活用などについて、学校も課題意識をもって家庭と連携しています。子供を中心においた議論は増えてきたと思います。これについては、これから拡充できればと考えています。また、保護者の意識が下がっているという話をよく聞きますが、そのような場所に来られない保護者をどのように巻き込んでいくかが課題になると思っています。就学時検診などを利用し、生涯学習課と

廣田委員	連携して呼び掛けや仕掛けが必要と考えます。学校保健安全委員会で検討されたことについて、P T A総会等で発信している学校もありますので、好事例を取り入れて、P T A総会へ参画しやすい仕組みを考えることも必要だと考えます。
生涯学習課長	・就学時健診はほぼ全員参加されると思います。知能検査をしている間に保護者を集めて、卓話等されていると思いますが、今はどのような状況ですか。
廣田委員	・今年は小学校の保護者を対象に「子育て学習会」を31校全てで実施し、中学校の保護者を対象に「家庭教育講座」を14校中13校で実施しました。
渡邊委員	・参加される保護者はコミュニティ・スクールなどでも役員をしたり、関わってくださっていると思いますが、全員を対象とするということで、P T A総会などは全員出席が原則の中、なかなか出席率が上がらない。P T A総会をいかに魅力的なものにするのか。予算報告だけでなく、保護者が参加してみたくなるような、前向きになるような内容にするなど、各校の腕の見せ所だと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。
学校教育課長	・5点お尋ねします。小・中・高校の卒業式にそれぞれ参列しました。中学校の話ですが、在校生の中に体調不良になる生徒が数名いました。家庭環境によるのかもしれませんが、児童生徒の体力強化策は何かありますか。次に、図書館でシステム更新をされた後、問題はありましたか。3点目は地域協育ネット絡みですが、新年度がスタートするに当たり、校長をはじめ、教職員の異動に伴い、申し送り等々、地域協育ネットのメンバーの方々としっかりコミュニケーションをとって、これまでどおりの連携を希望します。4点目ですが、学校の情報発信について、ある中学校では、学校のホームページやSNSを利用して学校の情報を頻繁に保護者や地域の登録者にも情報を提供しています。市内全ての小・中学校を対象にした場合、どのくらいの学校が取り組んでいるのか教えてほしいと思います。最後に、P T Aに入らない保護者がいると聞きます。廣田先生からお話があったように、P T Aをいかに魅力的なものにするか、全保護者が先生方や地域と一緒にって子供たちを育成していく認識を持ってもらえるような、P T A活性化対応策があれば教えてください。 ・まず、児童生徒の体力についてですが、リハーサルはそこまで長くないためか、危険度は感じなかったそうですが、当日は、緊張感もあると思いますが、送辞・答辞の場面で立ち眩みなどが多かったと聞いております。コロナ禍が明けて、全校生徒で動き始めていますので、気分が悪いときは座るなどの対処方法の周知を図りたいと思います。体力向上の取組についてですが、山口県では、今年度かなり改善されて

	います。正しい測定のタイミングと方法によるものだと思います。体力測定の時期を5月の早い時期から6月の運動会の頃にずらしたり、授業はじめのストレッチを継続し、柔軟性の成果が上がった時点で測定するなどの両面から効果が出たと思っています。「やまぐち維新プロジェクト」を掲げて体力向上に努めており、良い取組は横へも広げていきたいと思っています。 ・地域協育ネットにつきましては、前回、コミスクプレゼンのお話をしましたが、学校運営協議会等を含めて地域の方々と管理職を含めて意識しております。校長会等を利用して指導していきます。 ・情報発信につきましては、市の統一ホームページがございまして、入力も簡単になりましたが、情報が更新されている学校とされていない学校の差があります。保護者向けに配信しやすい民間のアプリを利用している学校も把握しておりますが、有料であったりしますので、全てに提供するのは難しいと思います。市のホームページを積極的に利用するように投げ掛けをしていきたいと思っています。
中央図書館長	・3月1日から図書館新システムを活用しています。金曜日から開始されましたので土日の混雑を想定し、1階の展示ホールにおいて臨時窓口を設けて対応しました。現在もカウンター横にて、使い方の分からない方に対応しております。1日目に最も多かったのは、ネットで利用されている方で図書館のホームページを開けない、パスワードやマイ本棚が移行できなかったことで混乱が少しありました。逆に使いやすくなったという言葉もいただきました。業者とも連絡を取り、改善できるところは改善に努め、臨時窓口も継続して設置しております。
生涯学習課長	・PTAの加入問題ですが、PTAは任意の団体ですので、保護者の自由なわけですが、毎年、校長・園長会議の際に、組織の説明や活動内容についてしっかり説明していただき、加入のお願いをするよう依頼しています。引き続きお願いする予定です。本年度はPTA連合会長にも話をし、PTAと各学校長が協議している状況です。
柿木委員	・3点質問がございまして、まず、山村留学センターにお尋ねします。次年度以降に向けて、卒業生から良かった点や改善点について話がありましたか。また、新年度の生徒数など伸び率含めて教えてください。
美和支所長	・令和5年度当初は留学生は12人でしたが、途中3人の追加応募がありましたので、15人が明日の修了式を迎えます。生徒個人個人、特徴はありますが責任感や自立心が芽生えたり、成長が見られたと保護者からも指導員からも聞いております。成長のペースは個々違いますが、1年間、親元を離れ、山村留学センターで生活したことによる変化は見られたと思います。来年度の状況ですが、定員20人のところ、予定では19人でスタート予定です。コロナ禍明けということもあり、他の市町の留学センターにも応募が増えていると聞いています。本郷山村

柿木委員	留学センターについては、ほかに検討中の方が2～3人おられる状況です。 ・ほぼ定員満員ということですね。自立心や責任感が育まれているのは良いところですので、ぜひ、アピールしていただいて、交流につながれば良いと思います。期待しています。 ・2点目は学校教育課にお尋ねします。昨年は灘中学校区でキャリア教育の研究テーマをされました。私自身も大変勉強になり、現場の取組も進んでいるなど思ったのですが、次年度の計画が決まっていれば、その選定テーマと背景についてお伺いできればと思います。
学校教育課長	・次年度、キャリア教育の岩国市の指定は美和中学校区になります。美和西小・美和東小学校ですが、統合により、美和小学校になります。地域の方と取り組んできた子供に身に付けさせたい力について両校取り組んできました。全てを踏襲するのは難しいですが、何のためにという目的に照らし合わせてカリキュラムを整理している最中です。小学校からの流れを中学校で生かす良いタイミングととらえて、美和中学校区を指定させていただきました。子供たちを中心としたキャリア教育の計画を作り直して、同じような課題を抱えている学校に水平展開できればと考えています。
柿木委員	・そのほかに研究テーマはありますか。
学校教育課長	・「小中一貫確かな学力推進事業」があります。補助金等をいただいて、中学校区を範囲に学力を高めていく計画となり、玖珂中学校区を指定しております。それと、「小中高英語教育推進事業」は県の事業になり、由宇中学校区を指定しています。小学校3校と中学校になります。高校については、今現在まだ選定が確定しておりません。昨年は川下中学校区と岩国高校で連携して行いました。また、県の指定事業で、「やまぐちっ子の心を育む道德教育」は2年指定で、平田中学校が2年目に入りまして、新しく麻里布小学校を指定しております。「プログラミング」の指定事業もございますが、学校区は後ほど調べてお伝えします。主だった事業は以上です。
教育長	・4月19日の研修会についても説明をお願いします。
学校教育課長	・学力向上を推進する中で、英語に限らず、ICTを活用した事業づくりを進めていきたいと考えています。タブレットを配布して、子供がそれを使って表現する活動です。英語に限らず、全教科で進めていきたいということで、文部科学省の直山視学官による研修会を4月19日に行う予定です。全市の学校の研修担当、学力担当が対象者です。指定事業の対象校では、管理職も含めて取り組んでまいります。
柿木委員	・テーマについては、文科省から県へ、県から市へ下りてきますか。
学校教育課長	・お伝えした事業は県と市になります。各県同じようなテーマになりますが、本市については、応援してくださる企業も多く、学力向上

柿木委員	に関して財政的にも随分御支援をいただいておりますので、素晴らしい講師を遠方からお呼びすることも可能になっており、大変有難く思っております。 ・ 3点目ですが、教員の採用や配置についてお尋ねします。育休や産休については、当然、想定されるものだと思います。想定に対して措置を取られないのは予算上の問題なのか、教員不足の問題なのか教えてください。
学校教育課長	・ 学校の教員は定数で決められています。産育休の代替、臨時教員の雇用については国の予算が確保されています。あらかじめ雇用して、産育休のタイミングで異動してもらうというような、突発事項に備えるシステムはありません。仕組みの上での大きな課題かもしれません。
柿木委員	・ 民間では考えられませんね。
教育長	・ 予算がなく、雇用できないわけではありません。
学校教育課長	・ 仕事柄、短時間勤務など、全ての方に保障ができるほど人員の確保ができないため、定数が増えることによって可能かどうかは国レベルの話になると思います。
村尾委員	・ P T Aの話はとても気になります。戦後、P T Aと学校はスクラムを組んできました。15年ほど前にコミュニティ・スクールができて、地域と一体となり、ボランティア活動などを通して、地域の方を学校内に取り入れることで、P T A活動が薄められてきたということもあります。組織としては、従来どおり、一人一役の役割を持ち、定期的に活動している学校もあります。また、P T A主体の読み聞かせのグループがあったり、地道に活動しているところもあります。子供たちの保護者が学校に絡んでいるP T A組織を大切にしたいと考えています。コミュニティ・スクールの陰に隠れてしまわないように、意識改革の機会がほしいのですが、いかがでしょうか。
学校教育課長	・ P T Aの活動自体について、実際に、子供たちのためにどのような活動をしているのかという実態が上手く伝わっていないのではないかと思います。役員も単年のため、全体の把握がままならず、説明ができないまま協力をお願いしている状況にあるのかと思います。
村尾委員	・ 昔はP T A新聞等もあり、表彰されたりしていましたが、現在はどうか。
学校教育課長	・ 今もあります。
村尾委員	・ 活動の魅力を積極的にアピールして、幅を広げていけばいいと思います。
学校教育課長	・ 奥ゆかしい形で進んでいます。今お話にあったように、活動状況や子供のためになっている部分を可視化して提供できれば理解も変わると思います。
村尾委員	・ 勤労奉仕の部会などは花壇経営に参画し、肥料代など担ってくれてい

	ます。実際にやっているのはP T Aですが、それが表に出ない。体育祭などでの購買も売り上げはP T Aが持ち、子供たちに還元してくれていて頭が下がる思いです。目的合理性の社会に突入し、P T Aに入らなくても良いとなれば心苦しいばかりです。
学校教育課長	• P T Aの在り方が話題になっていますが、P T Aの活動が可視化されるよう、学校として時間と場所を提供していく。例えば、一日入学など、保護者が必ずいる場所で、学校からの一方的な説明にならないように、やっていくことが必要な時代が来たなと思います。語り継いでいたものが止まり、価値が上手く伝わっていないと思います。
村尾委員	• 存在意義について熟議していただいて、参加したいと思うP T Aの活動にしていきたいと思います。
学校教育課長	• 分かりました。 • 先ほどのプログラミング事業についてですが、藤河小学校が指定になっておりました。関連ですが、次年度の目玉事業で、全県で7校ほど指定するA Iを活用した家庭学習支援事業があります。岩国西中学校校区が指定されておりますので申し添えます。
教育長	• 別にないようでしたら、以上で報告第3号を終わります。 • 次に日程第3「報告第4号 生徒指導上の課題について」を議題といたします。なお、これ以降の日程につきましては、公表までの間、議事については非公開としたいと思いますが、いかがでしょうか。
各委員	• 異議なし。
教育長	• 御異議なしと認め、日程第3以降は非公開といたします。 それでは、議事が終了後に休憩を挟みまして、関係機関のみで御報告させていただきます。それでは先に日程第4「議案第7号 岩国市教職員住宅管理規則の一部を改正する規則について」を議題といたします。教育政策課から説明をお願いします。
教育政策課長	• 本議案は、本年度、現在休校中の柱島群島にあります黒島中学校の教職員住宅を老朽化に伴って解体したことにより、規則から名前をなくすとともに、併せて字句の修正を行うため、規則の整備を行うため提案するものです。御審議のほどよろしく願いいたします。
教育長	• ただ今の説明に、御質問・御意見がございましたらお願いします。 別にないようでしたら、議案第7号は原案のとおり決することに御異議ありませんか。
各委員	• 異議なし。
教育長	• 御異議なしと認め、議案第7号は原案のとおり決します。 • ここで暫時休憩といたします。関係職員以外の方はこれにて解散となります。 <関係職員以外 退席>

教育長	・休憩を終わり、会議を再開いたします。それでは、日程第3「報告第4号 生徒指導上の課題について」を議題といたします。 ・それでは、青少年課から説明をお願いします。 (個人情報が含まれるため内容非公開)
教育長	・別にないようでしたら、以上で報告第4号を終わります。 ・本日の議題は以上でございます。次回の教育委員会会議の日程について、事務局から説明をお願いします。
教育政策課長	・次回定例会は、4月18日木曜日、2階特別会議室において、14時から所属長会議を、14時30分から教育委員会会議を開催いたします
教育長	・以上をもちまして、令和6年第4回岩国市教育委員会会議を終了いたします。

岩国市教育委員会会議規則第 16 条の規定により署名する。

教育長 守山 敏晴

教育委員 廣田 登志子

教育委員 柿木 秀雄